

事務事業名		バスターミナル指定管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公共交通係	担当課長名	菊地 昌之	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 公共交通の利便性の向上					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2522	一般	2	1	23	バスターミナル指定管理事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H23年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市バスターミナル条例					
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意の事業・義務的の事業		任意の事業			
						実施方法		指定管理者			
						事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		3-12			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)						
バスターミナルは、本市が交流拠点都市として更に発展するため、平成19年1月にオープンし、市の玄関口となっており、また、高速バスと市営バスや佐野新都市線(関東自動車運行)との結節点でもある。民間活力や民間ノウハウを活用し、サービスの向上に資するため、平成24年1月より指定管理者に施設の管理を行わせている。						指定管理者による施設管理を行った。						
活動指標						単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	
指定管理者との利便性向上に向けた協議・打合せ回数						回	10	21	10	10		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
①市民 ②高速バス運行事業者						対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
市人口						人	123,182	122,582	121,522	120,683		
高速バス運行事業者						社	8	8	9	9		
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
高速バス利用者の利便性の向上を図る。						成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
高速バス利用者数						人	455,829	463,957	475,078	470,000		
第1駐車場利用台数						台	129,358	126,367	129,112	130,000		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)												
①市民が公共交通を快適に利用できる。 ②公共交通が利用者ニーズに応じ、充実したものになっている。						上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
市内を運行するバスの利用者数						人	296,233	303,984	305,452	315,000		
市内を運行するバスの路線数						路線	8	9	9	9		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	643	77	46	175				
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	643	77	46	175	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	525	需用費	10	需用費	8	需用費	78
			役務費	11	役務費	11	役務費	11	役務費	12
使用料及び賃借料			107	使用料及び賃借料	56	使用料及び賃借料	27	使用料及び賃借料	85	
人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	3				
	のべ業務時間	時間	450	675	570	560				
	人件費計(B)	千円	1,751	2,660	2,220	2,181	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,394	2,737	2,266	2,356	0			

事務事業名	バスターミナル指定管理事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	公共交通係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	バスターミナル利用者の更なる利便性の向上を目的に平成24年1月1日より指定管理者にバスターミナルの管理を行わせるため、平成23年度にこの事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	民間活力や民間ノウハウを活用したサービスの向上が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成25年度において、バスターミナルの駐車料金を高額紙幣での納付ができるようにしてもらいたい、との要望があった。指定管理者から、第1駐車場(市施設)及び第2～第4駐車場(ジェイアールバス関東(株)運営)の駐車台数では不足する日がある、との報告があった。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	剰余金を活用し、①2番乗降バースの路面舗装修繕 ②案内看板作成 ③バス車路の出入口に進入禁止の路面表示 ④駐輪場の増築 ⑤自転車スタンドの設置 ⑥バス車路入口にガードコーンの設置を行い、利便性向上及び安全対策を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	高速バスと市営バスや佐野新都市線(関東自動車運行)との結節点であるバスターミナルの利便性の向上を目的とした事業であるため、公共交通の利便性の向上と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	平成24年1月1日より指定管理者制度を導入した。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	高速バス利用者のための施設の維持管理であため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	利用者の要望をとらえ、指定管理者と協議しながらその解決策を講じることにより、利用者の利便性の向上が図ることできるため、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 なし
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・指定管理者制度を導入しており、事業費は、市が負担する施設管理に必要な最低限の費用であり、削減する余地はない。・人件費は、指定管理者との協議と指定管理者からの報告書の確認業務に要する時間数であるため、削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	バスターミナルの収支は、駐車料金の収入で黒字となっているが、今後も維持管理を行うため、現在の受益者負担は適正である。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	バスターミナルを廃止すれば、この事業を廃止することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業のやり方改善(成果向上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。	優先順位を定め、剰余金を活用して実現を図る。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持			×	低下		×	×
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上		①②																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
①利用者の要望を把握する。 ②要望に対する解決策を指定管理者と協議する。																									